



問

「LINEショップカード」を使った健康ポイント制度を

厚生労働省の「健康づくりのための身体活動・運動ガイド2023」には「個人差を踏まえ、強度や量を調整し、可能なものから取り組む」とある。津市第4次健康づくり計画にも、青壮年期の重点的取り組みに「日常生活の中で意識的に体を動かします」とあるため、青壮年期の人たちが運動を始めるきっかけとしてLINEショップカードを使った健康ポイント制度を検討しては。

答

LINEショップカード機能を活用した事業に取り組んでいく

LINEショップカード機能を活用した健康マイレージ事業については、LINEなどデジタル媒体を活用し、若い世代の参加につながるような取り組みとして、県内他市で実施例がある。また、LINEを活用することでデータの管理が容易となり、どれくらいの人健康づくりに取り組んでいるか把握できるようになる。

このような状況を踏まえ、当該事業への若い世代の参加がさらに増えるように、令和8年度に向け、津市公式LINEのショップカード機能を活用した健康マイレージ事業に取り組んでいきたい。

その他の質疑・質問

- 公共施設の機能の集約化、複合化とエリア再編の進捗は
- 「津市個別施設計画」の第1期計画期間の中間見直しは
- 公共施設総量の最適化の目標は
- 津市における健康寿命の状況は
- 津市健康マイレージ事業への参加状況は

健康づくりのためには栄養バランスのとれた食事と適度な運動を取り入れることが重要となる



出典：農林水産省HP



問

津市の独居老人約2万3千人、増える孤独死の問題について問う

少子高齢化や核家族化が進み、家族同士で面倒を見るのが当たり前という時代は終わりつつある。独居老人が増えたことで、自宅で誰にもみとられることなく息を引き取る孤独死が増えており、亡くなってから1週間後に見つかったというケースもある。孤独死を未然に防ぐ津市の取り組みについて問う。

答

さまざまな事業を実施し、孤独死の未然防止に努めている

孤独死を未然に防ぐ取り組みとして、在宅で生活する独り暮らし高齢者等が急病等の緊急時に迅速かつ適切な対応を図るため、簡単な操作により委託先のコールセンターへ通報することができる装置を貸与する緊急通報装置事業、医療情報を記入した用紙等を入れて保管することで緊急時に救急隊員等が迅速な救命活動を行えるようにするための専用の容器「絆のボタン」を配付することにより、地域の自主的な見守りネットワークの構築に取り組む津市要援護者対策地域見守りネット活動事業、安否確認を兼ねて委託事業者が手渡しで届ける配食サービス事業などを行っている。

その他の質疑・質問

- 高齢者問題について
- 孤立死、孤独死について
- 民生委員・児童委員について
- 成年後見制度について
- 終活支援事業、エンディングノートについて
- 健康寿命について
- 津市のフレイル予防事業について

孤独死を未然に防ぐ、緊急通報装置と絆のボタン

